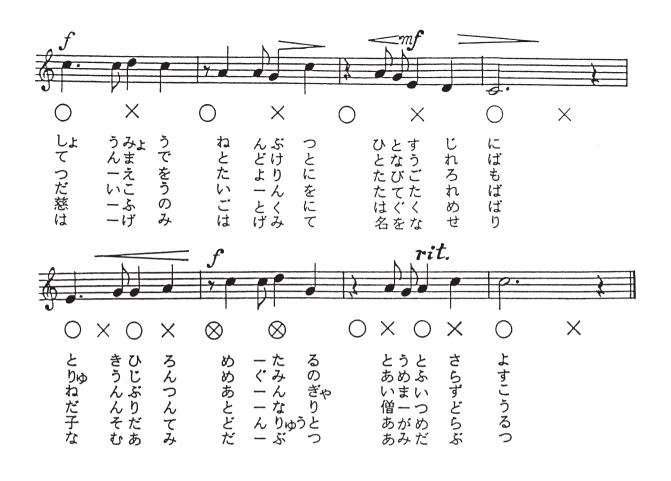
## 吞龍上人御和讃





ポイント注意 陽旋律4拍子の曲です。明るくお唱えして下さい。

前半にみる半拍休止から出るアクセントのところと、1拍休止からのソフトのところ、そして「称名念仏」の高調部分以下、前段と同じリズムの変化に心がけましょう。

(歌詞は78ページ)

## どん りゅうしょう にん 呑 龍 上 人 和 讃

齊藤 耕善 作詞

- 2 干魃飢饉に 泣く邨の 諸人たちを 励ましつ 高声念仏 百万遍 天まで届けと 唱うれば 龍神めぐみの 雨降らす
- 3 貧しき者も 病む人も 心康らぎ 徳したう されど上人 巡錫の 杖をたよりに 旅ごろも 急仏行脚 今いづこ

(音譜は76ページ)

- 4 やがて帰れば デャウム 家康公の 請いを承け 上野新曲に 由緒ある 大光院を 建てたれば 檀林となり 僧集う
- 5 大光院の 門前に 時折り哀れ 捨て児あり 上人憐れみ 抱きあげて 慈父のごとくに はぐくめば 子育て呑龍と 崇めらる
- 6 慈恩を受けし 子らはみな 上人仰ぎて 共どもに 等修念仏 一行に 励みはげみて 名をなせり 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

## 施餓鬼和讃

- 1 常随多聞の 南難韓者 樹下質想の 夜重け時 樹口の餓鬼が 競われて 三首の命と 告げ消えぬ

水口 正宏 作詞

五如来無量寿 计露主 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

(音譜は70ページ)